

一般財団法人京都市都市整備公社

第1 法人の概要

1 代表者

理事長 河嶋敏郎

2 所在地

京都市下京区綾小路通烏丸西入童侍者町 167 番

3 電話番号

075-361-7431

4 ホームページアドレス

<http://www.kyotopublic.or.jp/>

5 設立年月日

昭和 43 年 9 月 16 日

6 基本財産

11,000 千円（うち本市出えん額 11,000 千円，出えん率 100.0%）

7 事業目的

- (1) 京都市内及びその周辺地域における駐車場の設置，管理及び運営を行うとともに，交通安全思想を普及徹底することにより，道路交通の円滑化を図り，もって都市機能の維持及び増進に寄与すること。
- (2) 都市計画区域内における土地区画整理事業の施行並びに，土地区画整理事業及び公共施設造成事業の啓発及び育成を行い，事業の促進と向上発展を図り，もって公共の福祉に寄与すること。

8 業務内容

- (1) 駐車場の設置及び運営管理並びに管理の受託
- (2) 駐車場の整備拡充のための広報
- (3) 道路交通の円滑化及び道路交通環境の改善に資するための調査研究並びに関係行政機関への協力
- (4) 交通環境の改善及び地域振興に資するための助成事業
- (5) 交通安全教育及び交通安全運動の推進
- (6) レンタル事業
- (7) 排水機場の管理受託
- (8) 土地区画整理事業及び公共施設造成事業実施の啓発及び奨励
- (9) 土地区画整理事業及び公共施設造成事業施行に関する指導，調査及び研究
- (10) 土地区画整理事業及び公共施設造成事業に関する事務の受託
- (11) 土地区画整理事業資金借入の斡旋
- (12) 土地区画整理事業に係る研究会及び講習会の開催
- (13) 土地区画整理事業施行者相互の連絡
- (14) その他上記の目的を達成するために必要と認められる事業

9 所管部局

建設局建設企画部建設総務課(TEL075-222-3545)

建設局都市整備部市街地整備課 (TEL075-213-3537)

10 役員名等

(1) 理事長

河嶋敏郎

(2) 常務理事

玉田 肇，中村豊彦

第2 経営状況

1 平成29年度決算

(1) 事業報告

京都市内における駐車場の設置、管理及び運営を通じて、都市機能の維持及び増進に寄与する当社の平成29年度事業実績は、以下のとおりである。

区 分		駐車台数(台)	料金収入(千円)
直営事業	自動車駐車場	1,554,068	1,199,434
	自転車駐車場	1,502,948	243,979
	自転車駐車場(委託料型)	280,559	44,586
受託事業	市営駐車場の管理業務(指定管理)	459,116	585,941
	大宮交通公園管理業務(指定管理)(※)	41,917	16,867
	自転車駐車場管理業務(指定管理)	1,473,045	242,269

(※) 大宮交通公園管理業務の駐車台数欄は、ゴーカート乗車券の発売枚数を含む。

(平成22年4月29日から回数券の発売開始)

(2) 財務諸表

貸借対照表
平成30年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金	43,160	37,371	5,789
小口現金	20	27	△6
当座預金	26,336	6,441	19,896
普通預金	171,264	165,096	6,168
定期預金	428,998	580,000	△151,002
未収金	103,488	92,706	10,783
立替金	2,854	2,169	685
貯蔵品	184	322	△137
前払金	16,933	9,109	7,825
仮払税金	217	435	△218
流動資産合計	[793,455]	[893,674]	[△100,219]
2. 固定資産			
(基本財産)			
投資有価証券	10,000	10,000	0
定期預金	1,000	1,000	0
基本財産合計	(11,000)	(11,000)	(0)
(特定資産)			
退職給付引当資産	324,823	341,928	△17,106
事業費補填引当資産	165,000	210,000	△45,000
特定資産合計	(489,823)	(551,928)	(△62,106)
(その他の固定資産)			
土地	730,988	730,988	0
建物	222,286	236,220	△13,934
建物附属設備	9,998	11,983	△1,985
構築物	190,825	141,949	48,876
機械及び装置	41,041	43,053	△2,012
什器備品	262,925	170,299	92,626
車両運搬具	24	563	△539
一括償却資産	802	773	29
電話加入権	2,472	2,472	0
ソフトウェア	13,633	525	13,108
投資有価証券	9,404	9,404	0
保証金	28,138	21,968	6,170
その他の固定資産合計	(1,512,536)	(1,370,196)	(142,339)
固定資産合計	[2,013,358]	[1,933,125]	[80,234]
資産合計	2,806,813	2,826,799	△19,985

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
Ⅱ. 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	9,147	9,838	△691
未払退職金	47,190	0	47,190
未払金	299,775	346,880	△47,105
未払費用	20,003	20,004	△1
賞与引当金	29,237	30,496	△1,259
前受金	902	1,094	△192
流動負債合計	[406,254]	[408,312]	[△2,059]
2. 固定負債			
長期借入金	207,368	135,460	71,908
退職給付引当金	324,823	341,928	△17,106
固定負債合計	[532,191]	[477,388]	[54,802]
負債合計	938,444	885,701	52,744
Ⅲ. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	[11,000]	[11,000]	[0]
(うち基本財産への充当額)	(11,000)	(11,000)	(0)
2. 一般正味財産	[1,857,369]	[1,930,098]	[△72,729]
(うち特定資産への充当額)	(489,823)	(565,461)	(△75,638)
正味財産合計	1,868,369	1,941,098	△72,729
負債及び正味財産合計	2,806,813	2,826,799	△19,985

正味財産増減計算書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	24	24	△0
特定資産運用益	1,180	1,809	△629
事業収益	2,112,925	2,069,327	43,598
雑収益	32,043	28,591	3,452
経常収益計	2,146,172	2,099,751	46,421
(2) 経常費用			
事業費	1,660,368	1,553,744	106,624
管理費	363,369	332,282	31,087
経常費用計	2,023,737	1,886,027	137,710
当期経常増減額	122,435	213,724	△91,290
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
退職給付引当金取崩収益	5,512	12,507	△6,995
経常外収益計	5,512	12,507	△6,995
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	206	463	△257
法人税等支出	470	520	△50
寄附金支出	200,000	240,000	△40,000
経常外費用計	200,676	240,983	△40,307
当期経常外増減額	△195,164	△228,476	33,312
当期一般正味財産増減額	△72,729	△14,751	△57,978
一般正味財産期首残高	1,930,098	1,944,850	△14,751
一般正味財産期末残高	1,857,369	1,930,098	△72,729
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	11,000	11,000	0
指定正味財産期末残高	11,000	11,000	0
III. 正味財産期末残高	1,868,369	1,941,098	△72,729

2 平成 30 年度事業計画

(1) 事業計画の概要

ア 事業運営方針

公社は、公益目的支出計画の最終年度を迎え、また、平成 31 年度からの市営駐車場等における指定管理者一斉更新が控えており、公社（旧駐車場公社）設立 50 周年として、重要な局面であり、大きな節目となる一年となる。公益目的支出計画の確実な実施を目指すとともに、京都市が取組む様々な施策の推進に、引き続き積極的に協力するなど、公共性・公益性を追求していく。また、改めて経営の継続性と安定性を確保することを最大の目標にしつつ、収益事業の成長発展を図り、自主的かつ自律的な経営を行うことに最大限の努力を払う。

(ア) 駐車場事業

駐車場事業は、公社の基幹自主事業であり、引き続き、その経営基盤の強化に取り組むとともに、お客様のニーズに沿った「安全・安心で利用しやすい駐車場」づくりと運営を目指す。

また、京都市の駐車場施策に協力し、自動車・自転車と公共交通の円滑な連携を図るための駐車場整備を進めるとともに、レンタサイクル事業の拡充等に取り組むほか、駐車場の緑化推進や照明設備の LED 化など、環境に配慮した取組みを行う。

(イ) 区画整理事業

区画整理事業は、現在受託している業務を円滑に推進し、平成 30 年度に終了する。

(ウ) 公共的・公益的事業

京都市が推進する「歩くまち・京都」総合交通戦略や、改訂京都市自転車総合計画に基づく事業に積極的に連携するとともに、交通安全思想の普及、地域振興に係る助成など、公共的、公益的事業への取組みをさらに推進していく。

(エ) 公益目的支出計画の確実な実施

公益目的支出計画は、駐車場事業に係るものはその全額を京都市に寄附し、区画整理事業に係るものは継続事業として実施することを基本として、その期間は、平成 24 年度から平成 30 年度の 7 年間としている。計画に掲げる実施事業等を確実に実施し、公社の社会的責任を果たす。

イ 事業計画

競合会社による周辺の無人機械式駐車場との競争や、各駐車場の事情等による売上の変動が大きく、安定した収益を確保することが難しいものの、公社の重要な収益事業のひとつとして、安定のみならず発展が求められる。特に直営駐車場については、新規駐車場の開設や、既存駐車場の最適化を推進し、収支改善の見込めない駐車場については廃止を行うことで、経営基盤の強化を図る。なお、平成 30 年 2 月に独立行政法人都市再生機構から、西日本地区における競争入札参加資格の認定を受けており、平成 30 年度からは特に関西地区において積極的に公募物件への応募を行い、増収対策を推進していく。

また、レンタサイクル事業において、市民及び観光客から好評を得ている「こども用自転車」や「こども乗せ自転車」の拡充を図るとともに、要望の多い「乗り捨て型」のレンタサイクル実施に向け、各駐車場内のスペース活用を検討する。

その他、京都市が実施している「京のみどりの駐車場」パートナー制度に関する協定を締結し、京都市内における無人機械式駐車場の緑化を行い、維持管理に努めることで、利用者満足と環境への配慮を実現していく。

平成 27 年度からの指定管理者として指定を受けた市営駐車場については、応募時の提案事項の実施と、安心して安全な施設としての効率的な管理運営に努める。同じく指定を受けた大宮交通公園についても引き続き、交通安全教育及び交通安全運動の推進を図る施設として管理運営に努める。

また、京都市が管理する淀川水系の桂川及び宇治川周辺の排水機場の保守管理及び監視業務を引き続き受託する。

(7) 駐車場等事業

a 直営駐車場

(a) 自動車駐車場

	面積 (㎡)	収容台数
合計 144 場	100,180	3,419

(b) 自転車駐車場

	面積 (㎡)	収容台数
合計 20 場	9,218	5,339

b 指定管理者制度適用駐車場

(a) 自動車駐車場

	面積 (㎡)	収容台数
合計 6 場	28,250	627

(b) 自転車駐車場

	面積 (㎡)	収容台数
合計 15 場	17,840	12,052

(c) 大宮交通公園

所在地・面積	京都市北区大宮西脇台町・21,338 ㎡
主要施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通教室（ビデオ設備，映写設備） ・ 資料展示室 ・ 模擬交通施設（高速道路，横断歩道，交通信号機，道路標識等） ・ ゴーカー（29 台），自転車（10 台），幼児用自転車（10 台） ・ 無人機械式駐車場（15 台）

(d) 排水機場

保守管理業務 運転監視業務	1	西羽束師排水機場	8	納所排水機場
	2	新美豆排水機場	9	洲崎排水機場
	3	洛南排水機場	10	新川排水機場
	4	三栖排水機場	11	構口排水機場
	5	泰長老排水機場	12	東松ノ木排水機場
	6	小栗栖排水機場	13	水垂排水機場
	7	淀排水機場		

(e) レンタル事業（レンタサイクル）

駐車場名	台数(台)	備 考
岡崎公園	15	(26 インチ・3 段変速)，こども用・こども乗せ取扱いあり
京都駅八条口	15	(26 インチ・3 段変速)，こども用・こども乗せ取扱いあり
鴨東	15	(26 インチ・3 段変速)，こども用・こども乗せ取扱いあり
北山駅	6	(26 インチ・3 段変速)

(イ) 区画整理事業

a 土地区画整理事業に関する指導援助等

各組合に対して、組合運営及び許認可申請事務等の指導援助を行う。

b 受託事務

組 合 名	受託事務種別	適 要
桃山東第二土地区画整理組合	経常業務	現在受託している業務を円滑に推進し、平成 30 年度に終了する。(事業施行面積 9.1ha)

c 研究会及び講習会の参加

職員の研修のため、土地区画整理事業に関する研究会及び講習会に参加する。

(ウ) その他事業

a 公共的・公益的事業との連携

京都市が推進する「歩くまち・京都」総合交通戦略や改訂京都市自転車総合計画に基づく事業等との連携を図るため、ホームページによる駐車場及び周辺案内や、リアルタイム満空情報発信、ラジオ放送による駐車状況の配信、facebook による観光情報等の提供を行う。

b イベント等による交通安全思想の普及

交通安全思想の普及と地域の活性化を図るため、「交通安全フェスタ」や大宮交通公園における「春のこどもまつり」等のイベントを開催する。

c 地域振興に係る協賛等

京の七夕・花灯路、御池通の花壇設置等の事業のほか祇園祭をはじめとした地域行事に対して協賛する。

(2) 予算

収 支 予 算 書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	25	25	0
特定資産運用収入	1,015	1,126	△111
事業収入	2,200,501	2,077,543	122,958
雑収入	29,005	25,815	3,190
事業活動収入計	2,230,546	2,104,509	126,037
2. 事業活動支出			
事業費支出	1,658,621	1,546,731	111,890
管理費支出	387,575	356,362	31,213
50周年記念事業費支出	4,500	0	4,500
寄附金支出	237,527	200,000	37,527
法人税等支出	520	520	0
事業活動支出計	2,288,743	2,103,613	185,130
事業活動収支差額	△58,197	896	△59,093
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
特定資産取崩収入	202,242	116,566	85,676
投資活動収入計	202,242	116,566	85,676
2. 投資活動支出			
特定資産取得支出	18,724	20,530	△1,806
固定資産取得支出	59,500	259,900	△200,400
保証金支出	0	10,000	△10,000
投資活動支出計	78,224	290,430	△212,206
投資活動収支差額	124,018	△173,864	297,882
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
借入金収入	0	110,000	△110,000
財務活動収入計	0	110,000	△110,000
2. 財務活動支出			
借入金返済支出	38,092	38,092	0
財務活動支出計	38,092	38,092	0
財務活動収支差額	△38,092	71,908	△110,000
IV 予備費支出			
1. 予備費支出			
予備費支出	60,000	60,000	0
V 収支差額			
当期収支差額	△32,271	△161,060	128,789
前期繰越収支差額	387,202	485,362	△98,160
次期繰越収支差額	354,931	324,302	30,629

(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H27 (決算)	H28 (決算)	H29 (決算)	H30 (予算)
収支計算書	収入合計	2,654,772	2,631,471	2,829,551	2,819,990
	支出合計	2,168,118	2,146,109	2,442,350	2,465,059
	次期繰越収支差額	486,654	485,362	387,201	354,931
正味財産増減計算書	経常収益	2,111,441	2,099,751	2,146,172	/
	当期経常増減額	166,447	213,724	122,435	
	当期正味財産増減額	△70,330	△14,751	△72,729	
貸借対照表	総資産	2,899,784	2,826,799	2,806,813	
	総負債	943,935	885,701	938,444	
	正味財産	1,955,850	1,941,098	1,868,369	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H27 (決算)	H28 (決算)	H29 (決算)	H30 (予算)
委託料	駐車場管理運営 (指定管理)	204,923 (※1)	153,777 (※1)	153,671 (※1)	153,000
	大宮交通公園管理運営 (指定管理)	19,030 (※2)	19,030 (※2)	19,030 (※2)	19,030
	排水機場管理運営	112,692	111,698	112,366	

(※1) インセンティブを含む (※2) 一部利用料金制

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none">当期経常増減額は、平成28年度比で、減少し1億2千2百万円となった、経常外収益増減の部では、公益目的支出計画に係る本市への特定寄付2億をまかないきれず、当期正味財産増減額は赤字となった。
事業面	<ul style="list-style-type: none">直営駐輪場の利用率の向上については、目標値を達成しているが、駐車場事業等の営業利益率向上については、目標値を達成できず、財務上は厳しい結果となっている。桃山東第二地区土地区画整理事業については、平成28年度に換地処分及び保留地を完売されており、事業の収束に努めている。

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none">公益目的支出計画による寄附金2億円の負担が重く、当期正味財産増減額は4期続けての赤字となった。公益目的支出計画の確実な実施のため、さらなる収支改善の取組が必要である。
事業面	<ul style="list-style-type: none">駐車場事業については、利用率の向上や経費節減に努めることで、より収益力を高めていく必要がある。